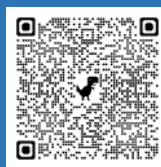


よいや～の風について



学校だよりの以前の号はこちら



令和7年12月3日(水) No.20 校長 東原 宏章

「本校の研究(授業改善)」

県内のほとんどの小学校が、1年間、もしくは複数年の研究テーマを設け、研究(授業改善)を進めています。

本校の研究テーマは「学びに向かう力を高める体育学習の追究 ～自ら振り返り、選び、打開しようとする児童の育成を目指して～」です。体育科を中心に確かな学力の向上を目指しています。

数年来、本校は体育科の研究を続けてきましたが、今年度は、学力(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」)の中でも「学びに向かう力の育成」を重点課題として授業改善に取り組んでいます。

「学びに向かう力」とは、子どもが自ら考え、試そうとし、学び続けようとする姿勢のことです。将来の学びや生活で大切な力です。

本校の研究対象の教科は体育科ですが、体育科で目指す「学びに向かう力」とは、おおよそ次のようなことになります。

①意欲的に運動に取り組もうとする姿勢

- ・最後までやり抜こうとする
- ・苦手なことにも挑戦しようとする

②友達と協力・助け合いながら学ぶ姿勢

- ・ルールを守る
- ・チームで作戦を考えたり、仲間のよい動きを見つけ伝えたりする



2年2組体育科授業「バウンドキャッチゲーム」



③自分の運動を振り返り、よりよくしようとする気持ち

- ・「どうしたらできるようになるか」を考える
- ・自分の課題に気づき、次のめあてをもつ

これらのことから、体育科で身に付けた「学びに向かう力」は体育科の学習に限らず、他教科で発揮することができ、生活をもよりよくするために大切なものであることが分かります。

11月13日(木)には2年2組の子どもたちと担任教師が授業を公開してくれました。「バウンドキャッチゲーム」というボールゲームが行われました。攻めと守りに分かれたコートで、相手コートにボールを投げ入れる簡単なルールで行われるゲームでした。

子どもたちは、「ボーナス点をゲットできるルールをえらんで楽しもう。」というめあてのもと、教師が提示した複数のルールの中から、グループ全員が意欲的に取り組むことができると思われるものを選んでいました。

授業の終盤の「振り返り」の場面では、多くの子どもが「ルールを変えたら、みんなが活躍できた。」「違うルールを選んでいたら、チームのみんながもっと楽しめたかもしれない。」などの感想をもつことができていました。

この日の放課後には、授業を参観した教職員で、授業改善の在り方や、今日の学びをこれからの体育科の学習や他教科の学習にどのように生かしていくのかを熟議しました。

高城台小学校のすべての教室等で、これまで以上に学びに向かう子どもたちの姿が見られることを期待するばかりです。

和やかな自己覚

(2) 展開	学習内容及び運動	教師の投げ掛け及び学習の留意点	準備物	(2) 展開
3分	1 準備運動をする。	○各部位を意識し	ボール 18コ フープ9コ	3分
7分	2 全カタイム ・バウンドフープ ・かべあて	○グループの中の前で取り組むようにする。 (3分ずつ)		7分
3分	3 めあての確認をする。	○前時のルールの変更を想起させ、チームでボーナス点をとって、楽しんで取り組めるようめあてを確認する。 (めあて)ボーナス点をゲットできるルールをえらんで楽しもう。		3分
5分	4 グループで話し合い ・自分たちのチームにあったルールを選ぶ	○前時の学習カードを自分の意見を伝えるようにする。 ネットの高さやコートにのび	学習カード	5分
3分	・チームに合ったルールとなっているか確認する。ボーナス点をもらえるようにルールを選ぶ。 ・3兄弟で発表タイム	○グループの全員が意欲的に取り組むことができるルールを考えるよう助言する。		3分
18分	6 2-2リーグ ・相手チームの決めたルールに合わせてゲームをする。 3兄弟3ゲーム	○長男vs次男(長男ルール) 三男審判 ○次男vs三男(次男ルール) 長男審判 ○三男vs長男(三男ルール) 次男審判	ボール フープ 支柱ネット 得点板	18分
6分	7 学習のまとめをする。	○「わがごとよ」の視点のうち、「わがごとよ」の視点で書くよう声を掛ける。 ○ねらいに沿った振り返りをしている児童の考えを取り上げ、全体に広めるようにする。 (まとめ)ボーナス点がゲットできるようにルールをえらんだから楽しめた。 ○ルールを選ぶ際に、自分やみんなの苦手や得意なことを考えたこともおさえる。		6分

授業を参観した教職員が気づき等を書き込んだシート。これをもとに協議(授業反省会)をします。

(2) 展開	学習内容及び運動	教師の投げ掛け及び学習の留意点	準備物
3分	1 準備運動をする。	○各部位を意識し	ボール 18コ フープ9コ
7分	2 全カタイム ・バウンドフープ ・かべあて	○グループの中の前で取り組むようにする。 (3分ずつ)	
3分	3 めあての確認をする。	○前時のルールの変更を想起させ、チームでボーナス点をとって、楽しんで取り組めるようめあてを確認する。 (めあて)ボーナス点をゲットできるルールをえらんで楽しもう。	
5分	4 グループで話し合い ・自分たちのチームにあったルールを選ぶ	○前時の学習カードを自分の意見を伝えるようにする。 ネットの高さやコートにのび	学習カード
3分	・チームに合ったルールとなっているか確認する。ボーナス点をもらえるようにルールを選ぶ。 ・3兄弟で発表タイム	○グループの全員が意欲的に取り組むことができるルールを考えるよう助言する。	
18分	6 2-2リーグ ・相手チームの決めたルールに合わせてゲームをする。 3兄弟3ゲーム	○長男vs次男(長男ルール) 三男審判 ○次男vs三男(次男ルール) 長男審判 ○三男vs長男(三男ルール) 次男審判	ボール フープ 支柱ネット 得点板
6分	7 学習のまとめをする。	○「わがごとよ」の視点のうち、「わがごとよ」の視点で書くよう声を掛ける。 ○ねらいに沿った振り返りをしている児童の考えを取り上げ、全体に広めるようにする。 (まとめ)ボーナス点がゲットできるようにルールをえらんだから楽しめた。 ○ルールを選ぶ際に、自分やみんなの苦手や得意なことを考えたこともおさえる。	